

八鹿病院 ニュース

2011年
4月

公立八鹿病院基本理念

『私たちは、地域中核病院として、
医の倫理を基本に、質の高い
医療と優れたサービスをもって、
住民の健康を守り、地域の発展
に尽くします。』

●yoka hospital「医療」

乳がんに対する チーム医療の充実を目指します！



- 脳ドックのすゝめ
- TEAM八鹿病院「訪問部門」
- 肺がん検診の休日精密検査を実施しています
- 公立八鹿病院組合議会について
- 医師異動のお知らせ

乳がん患者さんに より良いケアを。

乳癌学会の認定施設に認定されたのを機にさまざまな職種と連携し乳がん患者さんにより良いケアをおこなえるよう、プレストケアチームを発足しました。



yoka hospital「医療」

乳癌学会認定施設とは

乳癌学会認定施設に認定されるには、乳腺専門医が常勤し乳がんの手術が年間20例以上行われていることが必要です。但馬・丹波では八鹿病院のみですが、兵庫県では県立がんセンター、兵庫医科大学病院など10施設が認定されています。

乳癌学会の
認定施設に認定

乳がんに対する チーム医療の充実を目指します

外科 水田 誠

近年、乳がん患者数は増加の一途をたどり、女性では最も多いがんとなっています。

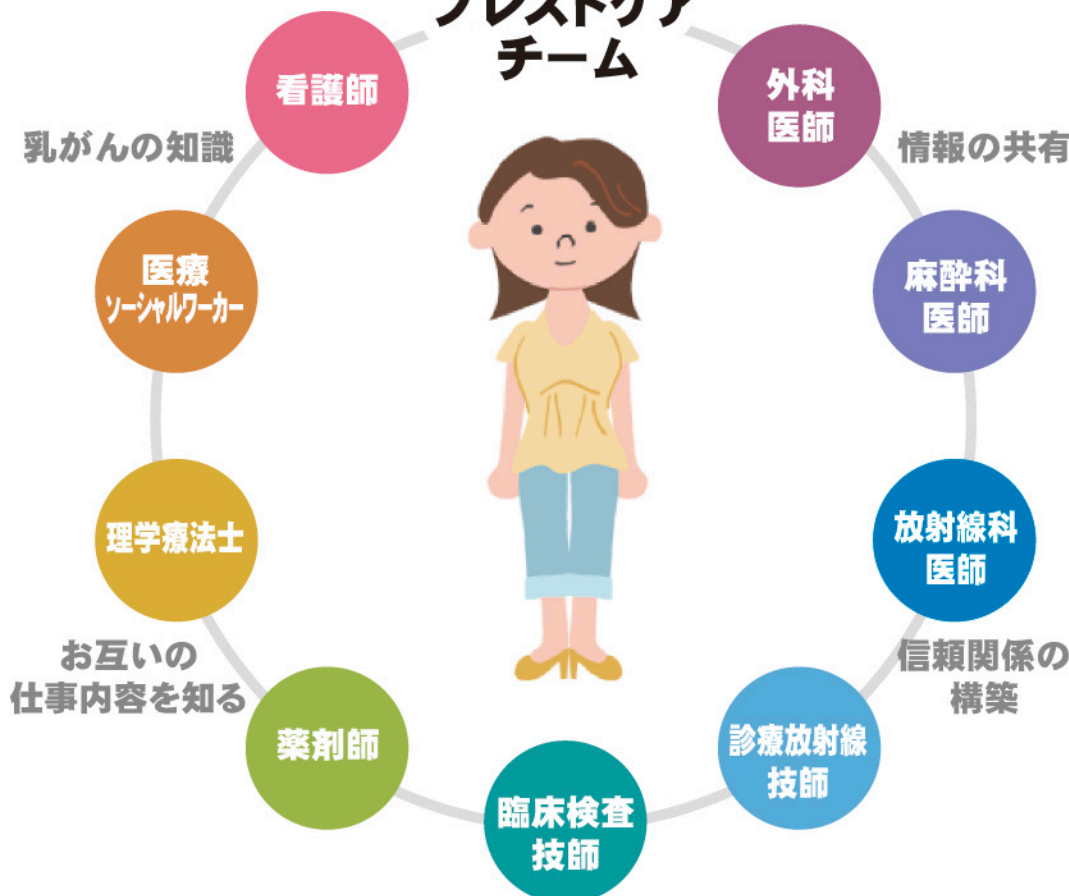
乳がんの診療は、診断、手術、術後リハビリテーション、術後補助療法（抗がん剤療法、内分泌療法、分子標的治療、放射線療法）、再発に対する治療と多岐にわたります。

八鹿病院では従来、乳がんの診療には多くの専門職がかかわってききました。

今回、乳癌学会の認定施設となったのを機に、専門職間の連携をより強くして、「チーム医療」として乳がん患者さんの治療にあたるために、「プレストケアチーム」を発足しました。

現在、以下のメンバーが「プレストケアチーム」の一員として、乳がんの診療に携わっています。

プレストケア チーム



診療放射線技師



マンモグラフィの撮影を担当します

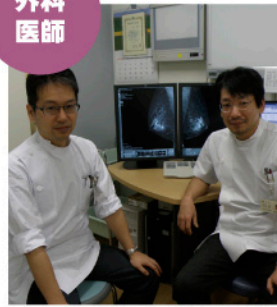
木村和代 田中規恵

マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師

放射線治療を担当します

**田野貞広 井口昌好
上仲彰洋**

外科医師



乳がん患者さんの主治医として、診断、手術、術後補助療法、手術後の経過観察、再発時の治療などをおこないます

水田 誠 ・日本乳癌学会 乳腺専門医
・日本外科学会 外科専門医
・マンモグラフィ読影認定医

木島寿久 ・日本外科学会 外科専門医
・マンモグラフィ読影認定医

臨床検査技師



乳腺の超音波検査を担当します

**田野美保 上田恵美
中屋めぐみ 林 靖子
中島純子 高橋博子 野崎美穂**

乳癌の診断、治療に欠かせない細胞診を担当します

余根田和弘 和田和久 阿部結穂
日本臨床細胞学会 細胞検査士

麻酔科医師



術前の全身状態の評価、手術時の麻酔を担当します

富 勝治 ・麻酔科専門医
・麻酔指導医

小濱華子

薬剤師



術後補助療法や再発時の治療の際に服薬指導、抗がん剤の種類や投与量のチェック、抗がん剤の調剤などをおこないます

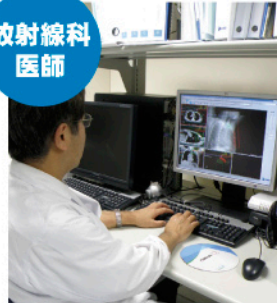
【外来化学療法担当】

**松下祐一 がん化学療法認定薬剤師
三谷安亮**

【病棟担当】

鎌田 充 がん化学療法認定薬剤師

放射線科医師



CTやMRIなどの画像検査の読影や、放射線治療を担当します

小山 司

・日本医学放射線学会 放射線科専門医
・マンモグラフィ読影認定医

山本修一

理学療法士



手術後のリハビリテーションを担当します。

黒田まゆり 田中怜子

看護師



乳がん患者さんが、家庭や社会でのさまざまな役割を果たしながら治療を受けることができるようサポートします

【乳腺外来看護師】

検診・診断・治療を受ける患者さんへの看護を担当します

【病棟看護師】

入院中の看護を担当します

【手術室看護師】手術中の看護を担当します

【化学療法室看護師】抗がん剤治療実施と看護を担当します

【放射線科看護師】放射線治療時の看護を担当します

医療ソーシャルワーカー

治療に伴う社会的・経済的な問題についての相談を担当します

福井久子 森本千恵

乳がん看護認定看護師の役割

(社)日本看護協会認定 乳がん看護認定看護師 **植木佳代子**

乳がん患者さんの不安な気持ちを支えたいという思いから、乳がん看護認定看護師は生まれました。現在全国で135名、兵庫県では5名が乳がん看護認定看護師として認定され、活動しています。乳がん看護認定看護師は、患者さんやご家族への治療に伴う身体的・心理的・社会的サポート、治療選択のサポート、ボディイメージの変容に関わるケア、手術後のリンパ浮腫の予防のためのアドバイスなどを行います。その他、乳がんの早期発見・早期治療のために、検診や受診方法に関する相談や、他職種と連携しチーム医療の発展に努める役割があります。



脳ドックのすゝめ

副院長 脳神経外科 福森豊和

脳ドックを再開して一年が経ちました。今回は、脳ドックの歩み、受診者の背景、発見される疾患とその対応法、脳卒中発症の予防、脳ドックの今後などについてお話しします。

はじめに

脳ドックは1988年、今から23年前に始まったわが国独自の検診形態です。その後MR装置の普及と進歩により、現在では全国の600施設以上で行われるようになりました。その背景には、脳卒中や認知症に対する関心の高さがあります。例えば、脳卒中は死亡率の第3位、要介護者の原因の4割を占めており、その予防は個々の患者さんのみならず、社会全体の経済的な損失に大きく貢献できると思います。

脳ドック学会出席の思い出

1992年(平成4年)、「単に新しい医療サービスの形態ではなく、予防医学の新しい分野として正しい進歩を遂げること」を目標とする。」という理念の

基に、第1回脳ドック研究会(学会になったのは1996年)が開催されました。私も演題発表のため参加しましたが、会長の粋な計らいで昼食時にワインが飲み放題でした。「午後のセッションに影響が出ないようほどほどに」とスライドが出て苦笑していました。何かの影響が出たのか第2回以降は中止となりました。

脳ドック受診の背景

平成22年1月〜12月に検診を受けられた方は、人間ドック2603名、脳ドック177名でした。脳ドック受診の動機として加齢や脳卒中の家族歴を挙げる方が多く、脳ドック群では平均年齢がやや高く、脳卒中の家族歴がある方は25%でした。

	受診総数	男女比	平均年齢
脳ドック	177名	(男)2.6:1(女)	55.1歳
人間ドック	2603名	(男)1.6:1(女)	50.9歳

発見される疾患

脳ドックを受診される方は通常症状が無い(無症候性)わけで、無症候性の脳動脈瘤や脳梗塞、脳

「脳ドック」を受けましょう

脳の病気は突然やってくる!

脳ドックでは、症状はないが脳に潜んでいる病気や危険因子を発見します。対象は無症状の方で、特に中高年の方や次の方は、脳ドックをおすすめしています。



- 脳卒中・脳腫瘍を発症されたご親族をお持ちの方
- 高血圧・糖尿病・高脂血症・肥満・喫煙の方

無症状で脳卒中の危険因子がある方に

脳ドック単独コース (料金)34,050円

実施:平日 月・水・木・金 受付時間:午前8時~8時30分

日帰り・1泊2日コースと一緒に

脳ドックオプションコース (料金)26,680円

- 頭部MRI・MRA検査
- 頸動脈エコー

※結果説明は別日の場合があります

腫瘍などが主な対象になります。その発見率はMR機器の精度と読影者の診断能力が問題となります。八鹿病院では高分解能を持つ1.5テスラMR装置を用い、読影は放射線科と脳神経外科の専門医がダブルチェックを行うようにしています。

発見された疾患は、脳動脈瘤5名(3%)、脳梗塞3名、脳腫瘍3名でした。その他、頭蓋内主要動脈の狭窄1名、頸部内頸動脈の30%以上の狭窄2名、頸部脊髄腫瘍1名(撮影のために位置合わせをする画像で検査技師が発見)でした。



無症候性脳動脈瘤

成人で未破裂脳動脈瘤がある割合は2〜4%(1000人集まれば2〜4人にある)で、特に2親等以内の家族に発見された場合は8〜14%と高率です。年間人口10万人当たり20人の方がくも膜下出血を起こしています。動脈瘤が破裂

した場合の死亡率はおよそ50%と高く、手術的に破裂を予防することが確実な治療方法です。しかし、

治療による合併症の発生率は1.9〜12.0%であり、脳ドックガイドラインでは、余命や破裂する危険度を考慮して検討するように推奨しています。例外はありませんが、その目安は、余命が10〜15年以上あり、瘤の大きさが5〜7ミリ以上の場合、インフォームド・コンセントを経て治療を検討します。治療方法として、開頭してクリップする方法と、最近増えてきたのが血管内手術で瘤内にコイルを詰める方法があります。

無症候性頸部内頸動脈狭窄

1995年に欧米で報告された論文では、狭窄率が60%を超えた場合、外科的治療が内科的治療に勝り、脳梗塞の発生を低く抑えることが示されました。但し、手術による合併症の発生が3%以下(限られた施設)という条件付きです。外科的治療は、動脈を切開して肥厚・変性した血管内膜を切り取る方法と、血管内手術でステントを留置する方法があります。私どもの脳ドックでは、MR画像と超音波検査を用いて、血管内

膜の性状についても総合的に判断し説明しています。

脳卒中発症の予防

脳卒中の危険因子については、高血圧症や糖尿病、脂質異常などはよく知られていますが、無症候性脳梗塞が脳出血を含めて脳卒中発症の高い危険因子であることはあまり強調されていません。同様に、無症候性脳血管狭窄や閉塞も危険因子であり、比較的軽度であっても定期的な観察管理が必要です。これらの異常も脳ドックで判明します。

脳ドックの今後

全国で約20年間に渡るデータが蓄積された現在、ただ異常な所見を見つけてだけの検診に留まらず、年齢を考慮した正常範囲を知り、長期的に未破裂脳動脈瘤や無症候性脳梗塞・主要血管狭窄の自然経過を観察検討し、対応法を確立することが求められています。

脳ドックを再開して一年が経ちました。検査の内容をさらに充実させ、安価で分かり易く、質の高い検診を提供して行きますので、どうぞご利用下さい。

スケジュール



※検査によっては当日に結果のでないものもありますので、後日総合判定を入れて検診結果票を郵送いたします。
 ※検査の順番は変わる場合があります。

申し込み方法は、お電話・FAX・もしくは直接人間ドック室でお申し込みください。
 (FAX専用紙はホームページよりダウンロード可能です)



結果説明



頸動脈エコー



MRI検査

<お申し込み・お問い合わせは>
人間ドック室 079-662-5555 (代)

当院と一緒に地域の方々を支える仲間を紹介！



訪問部門

「体が不自由で通院できない」そんな方々に、住み慣れたご家庭での療養生活を支援する「訪問部門」のとりくみをご紹介します。

利用者さんに在宅で安心して過ごして頂けるように

昭和56年、当時まだ保険点数がついていない状況の中、無料の訪問看護をスタートさせ、当初より訪問看護を中心とした在宅ケアを積極的に推進してまいりました。以来、一人ひとりの利用者さんに在宅で安心して過ごして頂けるよう、親切で丁寧な対応を心がけています。そのことよって地域の開業医の先生方やケアマネジャーからの信頼も得られ、年々地域に根ざしている手ごたえを感じています。

1 訪問看護

看護師が訪問し、病状観察など看護ケアの提供により自立への援助を促します。

2 訪問リハビリ

理学療法士・作業療法士・音楽療法士などが訪問し、利用者さんの状況に応じた訓練や精神的サポートなどのリハビリ、住宅改修や福祉用具導入の相談などを住み慣れた環境の中で行います。

3 訪問薬剤師

薬剤師が訪問し、服用されているお薬をより安全により効果的に使用できるように管理・指導等のお手伝いをし、飲み間違いなど無い様に利用者さんの不安を解消します。

4 訪問管理栄養士

管理栄養士が訪問し、利用

今後さらに質の高い八鹿病院の訪問部門の活動を推し進めてまいります。



在宅生活を支える7つの「訪問」

者さんの状況に合わせた食事の説明や冷蔵庫にある材料での調理実習、栄養補助食品の利用、口から食べるための練習などをし、栄養状態を評価します。

5 訪問歯科衛生士

歯科治療を必要としているが歯科医院へ通院することが困難な方のご家庭へ歯科衛生士が訪問し、口腔ケア等の実施をします。

6 ケアマネジャー

介護保険制度を適切に利用していたり、ケアマネジャーが介護サービスを調整し、介護保険上の相談を行います。

7 医師

通院が困難な利用者さんに計画的な医学管理のもと、定期的にご自宅に訪問し診療を行います。



▲訪問スタッフ愛用の訪問車。小回りがききます

当院の職員が訪問部門のスタッフに密着！実際の現場にお邪魔しました

訪問歯科衛生士

ベッドに寝たまゝの状態で、歯磨きや歯間のお掃除など口腔ケアを行いました。



ご家族の方にも、行ったケア内容や歯の状態を説明しました。



本人も、家にいるとほっとした顔をします。これからもできるかぎり家で過ごすことができたらと思っています。

取材スタッフの感想



一番驚いたのが、訪問先の利用者さんやご家族と、訪問スタッフの距離感。「こんにちは〜」から帰るまでの短い時間ですが、家族のようにご家庭にとけこんでいました。今回取材させていただくことで緊張していましたが、みなさん温かく迎えていただき、これも普段からの信頼の強さからと思うと自分ももっと頑張らねばと改めて思いました。今回、利用者さんやご家族の笑顔がたくさん拝見できました。しかし、日々の療養生活の中で、辛いことやどうにもならないこともたくさんあるかと思えます。そんな中でも、住み慣れたご自宅で少しでも笑顔で過ごせるよう訪問スタッフ一同皆様をサポートさせていただきたいと思えます。

■詳しいお問い合わせは

南但訪問看護センター

兵庫県養父市八鹿町下網場411
公立八鹿病院 東棟1F
TEL.079-662-3344

朝来訪問看護ステーション

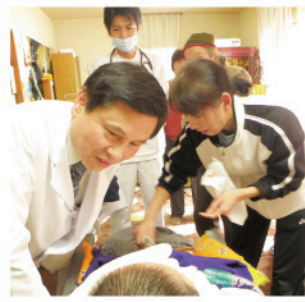
兵庫県朝来市立野172-10
TEL.079-677-1956

訪問リハビリ

お部屋の天井ばかりではと、気分転換にリクライニング車椅子を外を眺めます。雪が積もっていてあたりは真っ白です。



外を眺めていると、脳神経内科近藤医師が訪問に。音楽療法も行い、みんなで「上を向いて歩こう」などを熱唱。



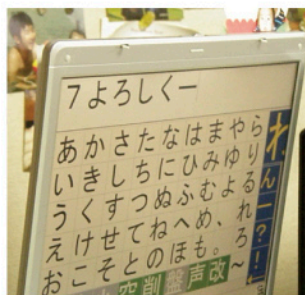
診察が終わると、リハビリを開始。常に利用者さんの表情を気にしながら手・足・口とゆっくり丁寧。



足で押すコイルのスイッチのセッティングを行い、あつとつ間に時間となりました。



訪問スタッフの帰り際には、利用者さんが「よろしく」とメッセージをくださいました。こちらこそよろしくお願ひします。



訪問看護

南但訪問看護センター

どんなに大雪が降っても長靴履いて利用者さんのもとへ伺います。



検温・血圧など体調チェックを行い、清拭・足浴・髭剃り・マッサージなど利用者さんと会話を楽しみながら。



後片付けも、「洗濯機のごくにおいとして〜」「はいい」とまるで家族のようでした。

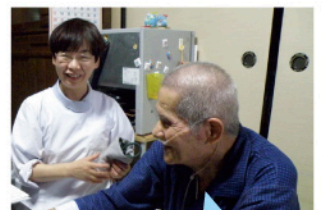


朝来訪問看護ステーション

利用者さんのお話しをゆっくり伺いながら体調チェック。



「訪問看護師さんとはどんな存在ですか」とお尋ねしました。



先生みたいな存在ですね。家族で言うたら親・兄弟みたいなものですね。夜中に3回も4回も来てもらったということもあるしね。ありがたかったですねえ。

養父市ケーブルテレビで紹介されました！

「自宅に住み続けたい〜だから、訪問看護」動画が見られます↓↓

【八鹿病院ホームページ】→病院のご紹介→メディア掲載情報→テレビ→過去のテレビ情報（平成22年）
【youtube】→「自宅に住み続けたい」で検索

トピックス

市民・職場検診等で
精密検査が必要な方へ

肺がん検診の休日精密検査を実施しています



- 【対象】 ●胸部レントゲン検査で、要精密検査となった方
●医療機関で、CT検査を指示された方
※呼吸困難や咳嗽、喀痰などの症状のある方は、平日に内科(呼吸器)を受診していただきます。
- 【実施日】 毎月第4土曜日(午後)・翌日日曜日(午前)
- 【診察時間】 第4土曜日:13時30分～16時 翌日日曜日:8時30分～11時
- 【定員】 半日で各5人程度 ※さらに精密検査が必要な場合は、内科(呼吸器)の予約で平日に受診となります

【お問い合わせ】 公立八鹿病院 内科外来

公立八鹿病院組合議会について

公立八鹿病院組合には、市や町の地方公共団体と同様に、地方自治法で定められた議会があり、条例予算等について審議を行います。組合議員の定数は12名(養父市8名、香美町4名)で、組合構成市町の議会議員の中から選任され、会議は定例会が年に4回開催されます。議会議員は次のとおりです。

【議長】北尾行雄(養父市) 【副議長】吉田範明(香美町)

【議会選出監査委員】山本賢司(香美町)

【議員(養父市)】藤原敏憲 勝地恒久 森本茂行 田村和也 西村禮治 水野雅広 深澤 巧

【議員(香美町)】西坂秀美 小林利明



3月29日当院にて議会の様子



医師異動のお知らせ (平成23年1月1日～4月1日)

【新任医師】 ～よろしくお願ひします～



【外科】
せいま よしひこ
勢馬 佳彦



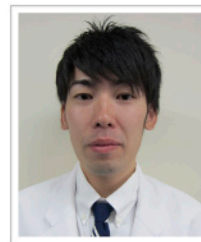
【麻酔科】
こはま はなこ
小濱 華子



【内科】
しもぎりょう みほ
下敷領 美保



【放射線科】
やまもと しゅういち
山本 修一



【研修医】
ながむら あきふみ
中村 晃史

【退任医師】 ～お世話になりありがとうございました～

【内科】諏訪 智治 【小児科】田原 俊夫 【内科】鯉田 五月 【内科】木谷 茜

【眼科】佐々木 勇二 【眼科】魚谷 瞳 【放射線科】河合 剛

発行

公立八鹿病院 総務課

〒667-8555 兵庫県養父市八鹿町八鹿1878-1 TEL.079-662-5555(代) <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp>

